

# 町政展望と重要政策は

## 町を支える人材育成と行財政改革の推進



後迫 哲矢議員

激動する社会変化や国  
地方自治の先行不透明な  
中で、町長2期目の4年  
間をどのように展望して  
いるか。

### 行政改革等の推進

町長

町政運営の中で少子高  
齢化は最も厳しい環境に  
ある。そのことが町政の  
課題であり、国が行財政  
改革を強く求めてきてい  
るので、町としても行財  
政改革計画プランの作成  
に取り組み、町を支える  
人材育成や生活環境改善  
と行政運営の効率化を視  
点とした政策運営にあた  
ります。

### 県の合併計画の所感

後迫議員

県の合併推進審議会で  
は、12月22日、第一回目  
の合併枠組みを審議し、  
各種報道機関の報道もさ  
れるようだが、町民の間  
に混乱が生ずるのではな  
いかと思うが、その対応  
をどうするのか。

### 議会との話し合いを進めたい

町長

合併計画は正式には平  
成18年3月に示されると  
聞いている。報道機関が  
いち早く報道した場合、  
町民の混乱を避けるため  
に議会との懇談会を開催  
し対応いたします。

### 行政改革の推進は

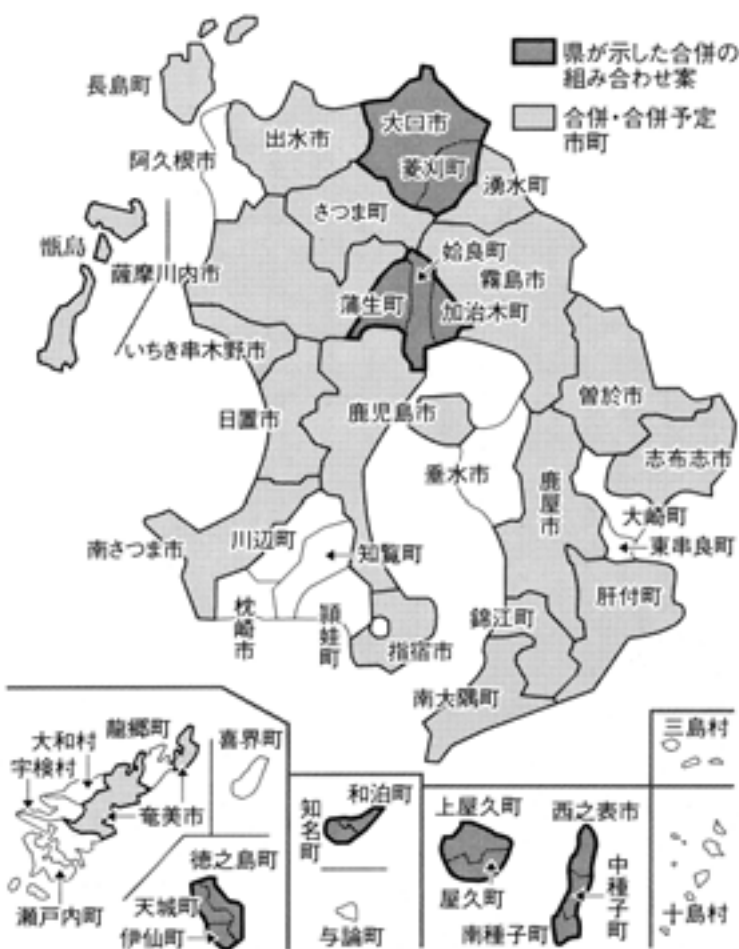
後迫議員

これからの改革をどう  
進めるか。

### 行財政改革 集中プランを策定

町長

具体的には職員数の削



鹿児島県内の合併の状況 (南日本新聞 平成17年12月23日掲載記事)

減、組織機構の見直し、  
指定管理者制度の導入、  
民間委託の導入、民間委  
託の推進、事務事業の見  
直しなどを含め、プラン  
を策定して推進する。

### 住民本位の町政の 具体的施策は

後迫議員

町民の期待にこたえる  
施策は何か。

### 住民対話と情報公開

町長

平素から住民との「対  
話が基本」との信念で取  
り組みをしてきた。その  
ことが住民の意見を政策  
に反映させることができ  
たので、今後も対話を重  
視していく。また、職員  
の集落担当制度を実施し、  
好評を得ているので継続  
していく。町政の施策に  
についても説明責任を果た  
すため、住民説明会と情  
報提供を積極的に進めま  
す。